

■ 令和3年度第3回行政改革推進委員会会議概要

1 会議の名称	令和3年度第3回行政改革推進委員会
2 開催日時	令和3年9月4日（土）午前9時から12時まで
3 開催場所	我孫子市役所議会棟AB会議室（オンライン会議）
4 出席委員その他会議に出席した者の氏名	委員：山崎暁、衣笠智子、川村憲男、藤田公俊、小柴博義、高橋義人、藤原昌樹、中川秋美 社会福祉課職員：阿部政人、小池晋、辻本久子 高齢者支援課職員：中光啓子、落合知視、山本由香里 予防課職員：玉置裕二、中谷潤一 建築住宅課職員：古泉信明、西牧一夫 公園緑地課職員：篠崎啓一、林克己、宮崎耕太 子ども支援課職員：荒井康哲、山口早紀 生涯学習課職員：菊地統、鳴島道 図書館職員：宇賀神修、穂村喜代子 行政管理課職員：山元真二郎、高橋亮一、鈴木徹
5 議題	事業仕分け対象事業の選定について
6 公開・非公開の別	公開
7 傍聴人の数	0名
8 会議の内容	<p>1 開 会 ○委員長より開会の挨拶があった。</p> <p>2 議 事 ○令和3年度我孫子市版事業仕分けの実施に向けて、次の7つの対象事業について所管課による事業説明があり、事業ごとに質疑応答があった。</p> <p style="padding-left: 40px;">(1) 子どもの学習支援事業 (2) 老人福祉センターの運営 (3) 空地の適正管理指導 (4) 市営住宅の運営 (5) 公園の維持管理 (6) 青少年育成事業（4事業） (7) 生涯学習センター（公民館・図書館）の運営</p> <p>○各委員による対象事業の中からの選定が行われ、対象事業数を含めた選定が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定の結果、令和3年度の仕分け対象は5事業となった。 ・(6)の青少年育成事業（4事業）については、個別事業を対象とするのではなく、4事業全体を対象とすることとなった。 <p>○委員から事業仕分けの対象選定に当たって次のとおり意見等があった。</p>

(委員) 「青少年育成事業」については4事業それぞれを議論していくのか。

(事務局) 対象としては1項目となるが、意見については4事業それぞれいたたく形を考えている。

(委員) 「市営住宅の運営」、「生涯学習センター（公民館・図書館）の運営」について、指定管理者制度の導入を議論のポイントとするのか。

(事務局) 行政改革推進プランの改革項目に上がっていることから、指定管理者制度の導入が焦点になると思う。ただし、指定管理者制度を導入するかかどうかだけではなく、運営手法自体を見直すことができないのか、指定管理者制度ではなく民間に委託できる部分があるのか、直営がいいのかなど、全体的な視点で検討していただきたい。

(委員) 「老人福祉センターの運営」、「市営住宅の運営」、「生涯学習センターの運営」は指定管理者制度が関わっているが、個々の項目として扱うのではなく、指定管理者制度自体を仕分け対象とし、別項目として取り扱うことはできないか。

(事務局) 今回の事業仕分けは、現在市が行っている事業を対象としているため、個別の事業として扱っていただきたい。制度全般の議論の場合は、改めて検討させていただきたい。

—この間、仕分け対象事業候補について1つずつ確認し、仕分け対象事業の選定が行われた—

(委員長) 選定の結果、令和3年度の仕分け対象は5事業としたいが、異議はないか。

(委員) 異議なし。

○事務局から今後の事業仕分けのスケジュール、仕分け当日の実施手法等について説明があった。

○今回選定されなかった事業についても、今後の行政運営の参考とするため、委員から意見を出していただくことを事務局から依頼した。

○委員から事業仕分け全体について次のとおり意見があった。

(委員) 空地の適正管理指導における所有者確認の事務処理については、効率化する方法もあるため、後で事務局を通してお伝えいただきたい。また、この事業における現場業務についてどのように行っているのか具体的な運用について確認したい。

(事務局) 事務局で質問票に反映し、担当課に確認した上、各委員間で回答を共有したい。

3 その他

○事務局から組織見直しの検討状況について説明があった。

4 閉会

○委員長より閉会の宣言があった。

